

地球通信

KOKUSAI KOTOKU GAKUIN
学校法人 国際ことば学院

学校法人 国際ことば学院 法人本部事務局
〒422-8076 静岡市駿河区八幡3-2-12
TEL:054-286-0788 FAX:054-260-7836
http://www.kotoba.ac.jp

心を動かす人間力 ～インドの卒業生との再会を通じて～

11月1日から11月5日まで、袴田理事長がインド・デリーへ出張しました。国際ことば学院日本語学校へ留学生を送り出してくださっている「日本語センター」（代表・名須川典子先生）を訪れ、在学中の学生約50名に当学院の様子を紹介したり、日本に留学中のセンター出身者からのメッセージビデオを見てもらったりして交流しました。また、インドに帰国した卒業生たちと食事会を開き、思い出話をしたり今の活躍ぶりを聞いたりしながら楽しい一時を過ごしました。今回の地球通信では、インド出身の国際ことば学院OBたちとその人間力について振り返る、袴田理事長のエッセイをお届けします。



ことば奨学会がインドを訪問するということになり、私も参加させて頂きました。これまでも二、三回訪れているものの、これまでは、どこまでも広く、どこまでも深いインドは、いつまでたっても理解までには程遠く、果てしない国であるという印象を受けていました。

これを機に、改めてインドからの留学生の事を振り返ってみます。

今回の旅行で私たちをもてなしてくれたタリヤン・ラジーヴさん（2001年入学）は、NI取得後帰国し『日印交流センター』を設立、日系企業のコンサルタントをしたり通訳をしたりして多方面で活躍しています。また、ラジーヴさん以外にも、学校運営や授業のやり方について日本語で末續前理事長と互角に侃侃諤諤の議論をしたサンジェイ・クマールさん、日本語学校在籍中にN2、NIを取得し、現在は国際弁護士にまで昇りつめたビーラッパン・ベラスレシュ・クマールさん、日本の立場を理解し国際競争の中渡り合う営業マンのサンサンワル・サンディープさんなど、存在感の大きさがインド人学生の魅力です。私も国際交流活動でどれだけ彼らに助けられた事でしょうか…。彼らを誇りに思うだけでなく、彼らの愛に包まれていた幸福感で今でも胸が熱くなります。



OBたちと会食（左端がタリヤンさん）

彼らには、留学生に対する一般的な評価をはるかに超える「何か」があります。あの「何もかもを呑み込む場所」に生まれた神々しさとも言えいいのでしょうか…。彼らの前にひれ伏したくなるほどの「大きさ」「余裕」が彼らにはあると感じています。



日本語センターにて（中央が名須川先生）

その人間力が生まれたのはいったいどんなところか…今回の旅は、その答えが垣間見えた、貴重で胸躍る旅となりました。

日本の物差しで彼らを測ってはいけない、これは、どんな文化に対しても同じですが、今回ほどそれを痛切に感じたことはありませんでした。日本の物差しが通用しないほど大きな秩序で彼らの世界は動いていて、言い換えると、一人一人が自由に振舞いながらそれでもそれぞれの居場所がある、自由と相手への許容が一つの秩序になっている、そんなのびやかさがインドの魅力でした。車のクラクションを鳴らす…でも決して単なる「どげどげ」ではない、そこに相手への配慮や容認があることに気づき、私はインド人の懐の深さと新たな価値観を教えられた気がしました。

日本に帰国した今、私の胸の中では、インドと、そして名須川先生の日本語センターとの新たな関係を模索していこうという希望が膨らんでいます。

（理事長 袴田靖子）

★別紙にて、「特別企画・こんな学生がいるんです！」と銘打ち、キラリと光る学生の様子を紹介しています。偶然にも、初回はインド出身の学生です。ぜひご一読下さいませ。

夏休みインターンシップ報告

8月19日から23日の5日間【夏休み1dayインターンシップ】が行われました。ホテル業、製造業、サービス業と様々な職種の企業様にご協力いただき、32名の学生が熱心にインターンシップに取り組みました。

今年、6月からキャリアアップクラス授業の中でインターンシップに向けた事前学習を3回行っており、外部の先生を招いてインターンシップの目的や心構え、企業研究などの準備をしてきました。

また、インターンシップ体験後には振り返りを3回行い、9月20日にはご協力いただいた企業様や教職員を招いて【インターンシップ発表会】を行いました。

発表会では、学生から「普段見ることができない、裏方で行われている大変な仕事も実際にやらせていただき、貴重な体験をすることができた」「インターンシップで学んだことを今後の就職活動に活かしていきたい」といった感想を聞く事ができました。

最後に準備・体験・振り返り・発表を通しインターンシップにご協力いただいた企業様に心より感謝申し上げます。

(山西)



登呂遺跡 英語Field Tripに行ってきました！

9月、一年生全員を3回に分け、英語のクラスで登呂遺跡に行きました。台風の影響も心配しましたが、予定どおり実施できました。田園風景のなか、江戸時代と弥生時代のそれぞれの火おこしを体験し、今の生活の便利さに感謝！ 弥生時代の服をまとい、田下駄での田植え、稲刈り、脱穀なども楽しみました。忙しい日常を忘れてみんな笑顔がいっぱいでした。また行きたいですね。♪～ (田中)



実用日本語学校からのお知らせ

10月9日より秋学期が始まりました！初級1は入門クラスから継続して学んでいる学生も含めた9名、初級2は4名、中級は2名で、元気に楽しく真剣に勉強しています。

日本での生活のため、進学のため、就職のためと目的は様々ですが、日本語が上手になるように教職員一丸となりサポートしています。日本語を学びたい方がいらっしゃいましたら、一度お問い合わせください！（青山）



第37回全日本中国語スピーチコンテスト静岡県大会に出場

10月20日（日）静岡文化芸術大学で「第37回全日本中国語スピーチコンテスト静岡県大会」が行われました。「朗読部門」大学生・大学院生の部に本校の山本優里さん（M1C）、ウィン タンダー モンさん（M2A）、名波璃沙さん（M2B）、鈴木純菜さん（M2C）の4人、「スピーチ部門」大学生・大学院生の部にグエン ティ トウ トウエットさん（M2C）とレ ティ ミン クエさん（M2C）の2人、全部で6人が出場しました。一か月半前から、大会へ向けて朗読の練習をしたり、作文を書いたりして、一生懸命練習してきました。

準備万端で臨んだ本番、朗読部門において、30人近くの競争者がいる中で山本優里さんが堂々の一位、ウィン タンダー モンさんが三位の成績を修めました。一方スピーチ部門ではレ ティ ミン クエさんが一位に選ばれました。しっかり練習したおかげで、それ相応の結果もついてきて、指導した身としてホッとしています。

今大会は学生たちがそれぞれの目標をもって望んだので、賞が取れなかった学生も自ら設定した目標は達成することができ、いい経験になったと思います。“祝贺你们取得了好成绩，太棒了。”（鄭）

※例 M1C：マルチリンガルビジネスコース1年Cクラス



Multilingual末續Library便り②



昔、唐の時代に韓愈という文人がいました。韓愈が読んだ漢詩に「灯火親しむべし」という一節があります。秋の夜長は、読書をするには最適な季節だということです。この詩が「読書の秋」の由来だとも言われています。Libraryも秋らしく模様替えをしました。

この秋、多読を始めてみませんか。マルチリンガルビジネスコース2年生の「私の一冊」書評コーナーもあります。（西貝）



11月のイベント予定

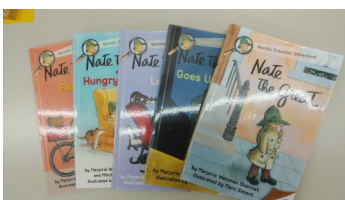
多言語音読会（12日26日）
英語多読・音読セミナー（19日）
英語で歌おう会 ♪（未定）
韓スピーチ練習（未定）

書画カメラ導入

図書室に書画カメラが入りました。
授業やイベントに活用していきます。



新着図書紹介 “Nate the Great”



多読に
お薦め♡

自称名探偵NATEの大活躍シリーズ

ご寄贈ありがとうございました。

宮城美弥子様より

“Lon Po Po” ED YOUNG
“Mad at Mommy” KOMAKO SAKAI
“The Very Busy Spider” ERIC CARLE
「ハウルの動く城」I～IV ジブリ

* 図書室では、スピーチや音読練習、学習相談も常時行っています。（^^）/

第22回国際文化交流会が行われました！

8月31日(土)、グランシップ中ホール・大地にて第22回国際文化交流会が開催されました。当校の学生13名による日本語スピーチに加えて、今回は大和まほろば日本語学校の学生もゲストとして参加しました。また、1年生全員による歌や静岡県立駿河総合高等学校の和太鼓部による演奏で会場が盛り上がりました！



【自由スピーチ部門 金賞 ラシニさんの感想】

皆さん、多くの人の前でスピーチをしたことがありませんか。それは、とても緊張おっせいですね。

でも私は、日本に来て初めて学際で行われたスピーチコンテストに参加しました。6月学校で「8月にスピーチコンテストがあるから参加する学生は作文を書いてください」と言われた。その日、私も参加しようと思って作文を書いた紙を家にもって帰った。何を書こうかと考えているうちに、今年私の国「スリランカ」で起こったテロのことが頭に思い浮かんだ。そのニュースを皆さんは知っていると思っただけ「スリランカで起こったテロのこと」というスピーチには自信がなかった。そして、私の心の中に出た感情を作文に書いた。

原稿を書いた学校に出かけた2週間後、私がスピーチに出る学生に選ばれたと先生に言われた。そのときうれしかった。そして、担任の先生と一緒に練習を始めた。スピーチ練習を始めたばかりのころは、あまり覚えられなかった。なぜかという毎日アルバイトと学校の授業もあったので練習時間がなかったから。でも暇な時間があった時、自分でも練習し、望月先生とも練習した。望月先生もあつ先生も中川先生とも一緒に練習した。そのとき私が間違えたところを先生たちが直してくれた。本番の前アドバイスも先生たちは私に教くれた。そして、たまたまスピーチコンテストで発表するスピーチを覚えた。

ついに9月31日になった。その日、グランシップホールの中に入るとき緊張して私のスピーチの音の前で発表した。最後にスピーチコンテストの結果が出た。私が金賞だと発表されたとき私は本当にうれしかった。それは、とてもうれしかったです。

日本に来て元々緊張してきたが、初め良い結果が出たのは、学際のスピーチコンテストで金賞になったことですね。

1年生の皆さんも来年スピーチコンテストに参加してください。元々緊張して練習してくださいね。

【日本語スピーチ出場者】

スピーチ部門

- JUAN VICTORIO ADIPUTRA LOTTONG (インドネシア)
★金賞・会場賞「私が見た虹」
- KARMACHARYA BIKAL (ネパール) ★銀賞「教育」
- POUDEL POOJA (ネパール) 「ゴミについて」
- INKE MARIA (インドネシア) 「ためらわずに私から」
- PRAVEEN NEGI (インド) 「温泉と日本人」
- SAW THAN HAN WIN (ミャンマー)
「グローバル時代における私達の責任」
- TO DANG NHAT VINH (ベトナム)
「多文化・異文化・ポータルズ」

自由スピーチ部門

- K.D. LASINI RUWANTHIKA GUNARATHNA (スリランカ)
★金賞「スリランカで起こったテロのニュース」
- HLAING NWE OO (ミャンマー)
★銀賞「憧れから夢へ」
- TAPA SANDIP (ネパール)
★新宿日本語学校賞「私の目的と愚かな考えとの間の戦争」
- KYAW LIN TUN (ミャンマー) ★会場賞「日本語の返事」
- ZIN MAR MYINT (ミャンマー) 「向き合うこと」
- RAWAT NITIN SINGH (インド) 「盆栽が教えてくれるもの」

ゲストスピーチ【大和まほろば日本語学校】

- MISBAHIYA WALIDANI (インドネシア)
「日本のお年寄りって…」

令和元年度10月生入学式が行われました！

10月19日(土)、10月生10名と来日の遅れていた7月生4名を合わせた計14名の入学式を行いました。ご参列くださいました皆様、誠にありがとうございました。式では、新入生一人一人が趣味や日本に来た目的などを話してくれ、会場からは温かい拍手が送られました。また在校生代表のフンさんは、「勉強だけではなく、イベントやお祭りにも参加して日本の生活を楽しんでください。」と、自分の体験を交えて語ってくれました。懇親会では、新入生は違う国の学生や来賓の方とも積極的に話をして、交流を深めていました。その積極性を日本の生活で活かして欲しいです。最後まで、笑い声が絶えないアットホームな雰囲気の中で終了することができました。(村田)



八幡神社例大祭 ミャンマードダンス&神輿でセイヤッ!

8月14日(水)、15日(木)と八幡神社例大祭のステージ・神輿(みこし)に参加させていただきました。台風が接近していましたが、無事に終えることができました。(梅島)

八幡 みこしの感想 スプレアキバル
とても楽しかったよ。日本の文化を学んだり、日本人と話したりしていろんな食べ物を食べたりした。肩が痛むところがいい経験だったんだ。日本人はやっぱり祭りを楽しんでるなあ。私も燃えて来たよ!

ステージの感想
アリソエイ
祭り ミャンマーの踊りで友達と参加させていただきありがとうございます。
ミャンマーの踊りはあまり上手ではありませんが頑張って練習して演奏しました。
おし 日本人達の優しさのおかげで心に配り気持ちよく演奏できました。
ミャンマーの踊り以外 日本人の伝統的な踊りなども見ると、お祭りで天皇へのお祈り方を教えていただきましたのでとても楽しい一日になりました。



静岡ホームで日本の夏を満喫

8月24日(土)に行われた静岡ホームのお祭りに学生約30人と参加してきました。昨年参加した学生は、子供たちとの再会を喜んでいました。お祭りでは、子供たちのダンスや和太鼓クラブによる演奏などが行われ、会場は大盛り上がりでした。当校のインドネシアの学生は、母国のゲームを紹介してくれました。お祭りの後半には、焼きそばやおでんを食べたり、花火をしたりして、子供たちとの交流を楽しんでいました。学生からはまた来年も参加したいという声が聞かれました。(村田)



その日教室は茶室になっていました



9月8日(日)、裏千家青年部交流茶会主催のお茶会を校内で行いました。その日教室は茶室と水屋になっていました。そこではただの勉強机までも格式を帯びていました。茶会が始まると和装の方々と民族衣装の留学生とが狭い校舎内を行き交います。そこに日本語学校らしい、何とも言えない可笑しみを覚えました。抹茶茶碗で薄茶をいただいたかと思えば、その後スリランカ人留学生のいれたショウガ入り紅茶と手作りのお菓子を楽しむ。ほうじ茶ラテやタピオカミルクティーがはやる理由がわかるような…。(野田)

奨学生に選出されました

私は奨学金をもらうのは全然思わなかった。なので奨学金をもらうことを聞いて本当に驚いて心から感謝しています。先週奨学金与式へ行きました。初めて来たときとても緊張していましたが、新しい友達もできました。

氏名：ニンディア リズキウタミ

当校のニンディア リズキウタミさん(インドネシア)が特定非営利活動法人 エルエスエイチアジア奨学会の奨学生に選出され、奨学金授与式に参加させていただきました。



ミャンマーとベトナムへ学校訪問に行きました

8月上旬、学校訪問をさせていただきました。学校説明会や学生と面談を行いました。現地の留学状況を知ることができました。出会った学生たちと日本で会えるのを楽しみにしています。



【 ベトナム 】



【 ミャンマー 】

地域交流

- ・ 11月24日(日) 静岡わいわいワールドフェア(静岡市国際交流協会主催) ボランティアとしても参加予定
- ・ 12月中旬 ホームステイ(ヒッポファミリークラブ) 学生に大好評!

ご寄付有難うございました。大切に使用させていただきます。

堤様、渡辺様、林様、小島様、山梨様、斎藤様

うんどうかい
運動会 ~10月26日 at 富士市立第二小学校体育館~

日増しに秋も深まってきたこの日に、第6回目の運動会を行いました。今年も体育館をお貸しください、富士第二小学校をはじめ、地域の皆様、ありがとうございました。当日は、選手宣誓から始まり「リレー」「しっぽ取りゲーム」や毎年恒例の「ジェンカ」など6種目の競技をクラス対抗で競いました。特に最終種目「綱引き」は白熱した戦いが繰り広げられ、選手だけで



く応援にも力が入っていました。今年度は2年生のクラスが大健闘しましたが、綱引きとリレーに勝利したBクラスが見事優勝を果たしました。学生にとって、勉強の合間の息抜きになったと思います。



おんがく ゆう
音楽の夕べ

10月23日、富士ロータリークラブより「音楽の夕べ～懐かしのグループサウンズ～」に4名の

学生たちがご招待いただきました。メンバーの方々によるキーボード、ギターなどの生演奏、素晴らしい歌声、そしてユーモア溢れる演出に学生たちも大喜びでした。当校のギアさんとレティンゲットさんは最近ベトナムの結婚式でよく歌われる「Con Mua Tinh Yeu～雨の中で2人～」という歌をデュエットで披露し、相思相愛の恋人が雨の中、楽しげに歩く様子を演出し、歌いあげました。インドネシアのジェシカさんはリチャードさんのギターに合わせ、名曲「未来へ」(Kiroro)を歌ってくれました。リハではギターが止まり、皆さんに励まされていましたが、そこは本番に強いインドネシア。息の合ったところを見せ、歌い終えることができました。名曲は時を超え、国を越えて何か通じるものがあると、笑顔の学生たちを見ながら改めて感じました。もうすぐ卒業する4人ですが、今後もこのような交流の機会に是非参加してほしいと思います。最後になりましたが、いつも温かく支えてくださる富士ロータリークラブの皆様、心より感謝申し上げます。



こうつうあんぜんきょうしつ
交通安全教室

10月24日に交通安全指導員の方に来て頂き、10月に来日した新入生を対象に交通安全教室を行いました。

いつものように交通ルールや自転車の正しい乗り方などを丁寧に教えていただき、学生達は先輩の通訳を真剣に聞きながら、母国と日本の交通ルールの違いを理解したようでした。講話の後は学校周辺の道路を自転車で走行し、学校の周りの危険な場所などを確認しました。今回は富士警察署から交通課の方もいらっしやり、最後にお話をしてくださりました。これから日本の交通ルールを守り、安全な留学生活を送ってほしいと思います。



まほろば校学生静岡へ！

8月30日（金）、31日（土）の二日間に渡り、2年生7名を連れて、静岡を訪問しました。今回の旅行はことば奨学会よりお招きをいただき、実現いたしました。

金曜日はドリームプラザにて会食を開いていただき、その後学生たちはホームステイ先へ。土曜日は専門学校にて説明会と学生さんとの交流会、日本平夢テラスへ観光、そして静岡校の国際文化交流会で、本校を代表してインドネシアのダニさんがゲストスピーチをしました。

あっという間の二日間でしたが、奨学会の皆様やホームステイ先の皆様の温かいお心遣いやグループ校とのつながりが実感でき、学生たちにとっても、何事にも代え難いすばらしい思い出として、心に残っているようです。

改めまして、教職員及び学生を代表いたしまして、ここに厚く御礼申し上げるとともに、ぜひ今後ともこのような機会をいただければと、切に願っております。（佐藤）



日本平夢テラスにて



静岡のスピーチコンテストにゲスト参加



専門学校の学生さんとの交流会

2019年度10月生来日

2019年度10月生が来日しました。今回はインドネシア8名、ネパール人1名の受け入れとなり、校舎の上にある寮も満室で、自転車通学する学生も増えてきました。留学生がまず初めにすべきことは、生活基盤の構築です。健康診断や交通安全教室など、事故、病気の無い安心、安全の留学生活が送れるよう、全力でサポートしていきたいと思っております。



桜井駅周辺マップ作り

9月7日（土）に桜井のまちづくり協議会様より、「外国から来た人の目から桜井を見てもらいたい」とのことで、桜井駅周辺マップ作りの下調べに参加させていただきました。地域の方々とグループになり、小一時間ほど散策し、新たな発見が数多くありました。

秋の大神祭お神輿参加


10月23日（水）大神神社で行われた秋の大神祭の宵宮に参加しました。学生たちにとっては初めてのお神輿で、非常に貴重な体験となりました。2時間以上にわたり担ぎ続け、元気だった学生たちも次第にヘトヘトに…。お祭り後の直来（なおり）でも、桜井の皆様優しく迎え入れていただき、温かい雰囲気、和やかな時間を過ごせました。



ご寄付ありがとうございました！

桜井市本町通・周辺まちづくり協議会様(家具・食器など) ・ 小島善明様(タオル)

学校法人 国際ことば学院 行事予定



日本語教師養成講座

毎年4月受講開始

▽ 一般教育訓練給付制度の指定講座
▽ 文化庁届出受講講座
▽ 日本国教師養成講座の
履修と卒業相違点説明会開催中！

**毎年好評の “日本語教師” のことがよくわかる無料セミナー
今年度の開催日程が決定いたしました！**

日時：①12月14日（土） ②1月18日（土）
③2月15日（土） ④3月14日（土） いずれも 13:00～15:00

場所：国際ことば学院外国語専門学校

内容：全4回ともそれぞれ異なる観点から、日本語教師としての体験談、日本語教育を取り巻く環境などを講師が熱く語ります！また、現在日本で活躍中の外国出身者や、日本語教師養成講座修了生に直接質問できる座談会も予定しています。皆様のお越しをお待ちしております！！

※セミナーのテーマなど、詳細は同封のチラシをご覧くださいませ。
お問い合わせ先は… TEL054-270-7091 ✉gaikokugo@kotoba.ac.jp

**国際ことば学院外国語専門学校
学校説明会・試験日程のお知らせ**

今年度の学校説明会は残すところ2回となりました。

①1月18日(土) 10:30～11:30
②2月15日(土) 10:30～11:30

<<2020年度入学生・入学試験日のご案内>>

①12月7日（土） 出願締切 11月29日(金)
②12月14日（土） 出願締切 12月 6日(金)

**実用日本語学校
冬季クラス 受講生募集中！**

○入門クラス

2019年12月3日（火）～12月18日（水）
申込締切：2019年11月28日（木）

○初級1、初級2、中級クラス

2020年1月6日（月）～3月18日（水）
申込締切：2019年12月20日（金）まで
事前にレベルチェックテストが必要です。（要予約）

新規教職員紹介*宜しくお願いたします*

■大和まほろば日本語学校 非常勤講師 佃 都
非常勤講師 吉川 智久

退職する教職員*お世話になりました*

■国際ことば学院外国語専門学校 常勤職員 ギルヌス 慧
■大和まほろば日本語学校 非常勤講師 石井 やよい

**学院内各校 教職員室の
年末年始休業のお知らせ**

2019年12月27日（金）から
2020年 1月 5日（日）まで
お休みとなります。

<編集後記> スポーツ、行楽、読書、食欲…地域の秋祭りや学校行事で、さまざまな秋を学生たちは楽しんだようです。これからやってくる冬は進学や就職、語学などの試験が多い季節ですが、寒さに負けずに頑張ってほしいです。 編集長：宮田/ 編集：梅島、山田、甲斐、工藤、佐藤

*次回、地球通信 第263号は
2020年1月下旬ごろに
発行予定です。お楽しみに！

KOKUSAI KOTOKU GAKUIN GROUP 学校法人 国際ことば学院グループ

COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES 国際ことば学院外国語専門学校

〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川3-9-4 TEL:054-270-7091 / FAX:054-286-7091
WEBSITE:http://sp.kotoba.ac.jp E-MAIL:ask@kotoba.ac.jp

JAPANESE LANGUAGE SCHOOL 国際ことば学院日本語学校

〒422-8076 静岡県静岡市駿河区八幡3-2-28 TEL:054-284-8383 / FAX:054-284-8338
WEBSITE:http://jp.kotoba.ac.jp E-MAIL:info@kotoba.ac.jp

MT.FUJII JAPANESE LANGUAGE SCHOOL 富士山日本語学校

〒416-0944 静岡県富士市横割1-6-16 TEL:0545-30-8680 / FAX:0545-30-9558
WEBSITE:http://fujisan.kotoba.ac.jp E-MAIL:fujisan@kotoba.ac.jp

YAMATO MAHOROKA JAPANESE LANGUAGE SCHOOL 大和まほろば日本語学校

〒633-0053 奈良県桜井市谷10-1 TEL:0744-44-2424 / FAX:0744-47-2430
WEBSITE:http://yamato.kotoba.ac.jp E-MAIL:yamato@kotoba.ac.jp